

## 働く世代の生活習慣病予防に向けた取組について

### 1 状況

**【北海道の生活習慣の状況】** ※詳細は資料5参照

- ・特定健診受診率は、45.7%（全国 47 位）、特定保健指導実施率は 18.4%（全国 47 位）。
- ・肥満や高血圧、高血糖、肝機能低下等特定健診結果の多くの項目で、全国と比較し高い。
- ・喫煙者、1 日の飲酒量 2 合以上の者が全国と比較し高い。
- ・年齢調整死亡率は、悪性新生物・腎不全・糖尿病で、全国での順位が高い。

**【昨年度の部会で把握された状況】**

- ・被扶養者の健診受診率が低い。
- ・若年層への健康の意識付けが必要。
- ・地域の健康支援サービスに関する情報が得られない。
- ・喫煙率が高い。
- ・健康経営の認知度は高くなっているが、更なる推進が必要。

### 2 これまでの主な取組

(1) 関係機関等と連携した特定健診及び特定保健指導に係る取組 ※詳細は資料3、資料4参照

- ・特定健診普及啓発イベントの開催
- ・特定保健指導従事者の資質向上のための研修会開催
- ・特定健診率向上に向けた取組

(2) 生活習慣病予防に関する情報発信等

- ・ホームページや SNS を活用した普及啓発
- ・循環器病普及啓発のためのリーフレット作成・配布
- ・生活習慣病予防に関するパネル展の開催
- ・慢性腎臓病に関する普及啓発動画の作成
- ・「従業員の健康づくりに取り組む事業所好事例集」の作成

### 3 今後の取組（案）

(1) 二次医療圏域の課題に応じた取組の強化

- ・国保と後期高齢者医療及び協会けんぽの情報を一括管理したデータベースを基に情報分析、健康課題の明確化
- ・二次医療圏地域職域推進業務（保健所）担当者会議開催

(2) 働く世代への生活習慣病予防に関する普及啓発（道内は、高血圧や肥満が多いため、働く世代から、適切な食事や運動等生活習慣を意識できるよう実施する）

- ・道内 2ヶ所での生活習慣病（循環器病等）予防セミナーの開催
- ・生活習慣病予防に関する普及啓発動画の作成
- ・道関係部署と連携した取組